



東証二部上場

証券コード

[3198]

平成30年2月期  
決算説明会資料

# SFPホールディングス株式会社



平成30年4月16日



# (1) 本日のご説明事項

<p><b>平成30年2月期</b> 業績</p> <p>P 2</p>	<p>売上高368億円（対前年同月比+2.5%）、経常利益38億円（同+7.5%） 当期純利益29億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高は368億円で過去最高を更新 既存店前年比は97.3%</li> <li>・期末直営店舗数は218店舗（新規出店18店舗、業態転換7店舗、撤退7店舗）</li> </ul>
<p><b>平成31年2月期</b> 予想</p> <p>P11</p>	<p>売上高396億円（対前年同期比+7.5%）、経常利益38.5億円 当期純利益23.5億円を予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存店の業態転換（29店舗）、改装（磯丸水産7店舗、鳥良3店舗）実施。</li> <li>・新規出店20店舗のほか、新業態開発を進める</li> </ul>
<p><b>成長戦略</b> および <b>中期経営計画</b></p> <p>P13</p>	<p>平成31年2月期は新たな成長戦略「<b>一等立地マルチコンテンツ戦略</b>」を展開し、今後の成長の基礎を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年2月期：既存店の業態転換・改装による収益維持・向上、次の柱となる新規事業開発 地方都市への出店を積極的に検討</li> <li>・平成32年2月期：売上430億（成長率8.6%）新規出店40店舗</li> <li>・平成33年2月期：売上500億（成長率16.3%）新規出店40店舗（店舗数は300店超に）</li> </ul>
<p><b>トピックス</b></p> <p>P20</p>	<p><b>APPENDIX</b></p> <p>P22</p>



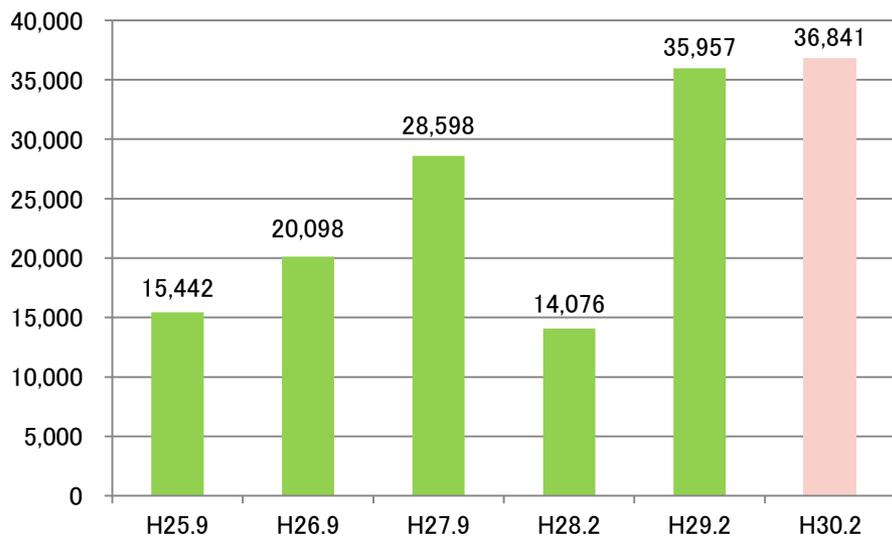
# 1. 平成30年2月期業績

---

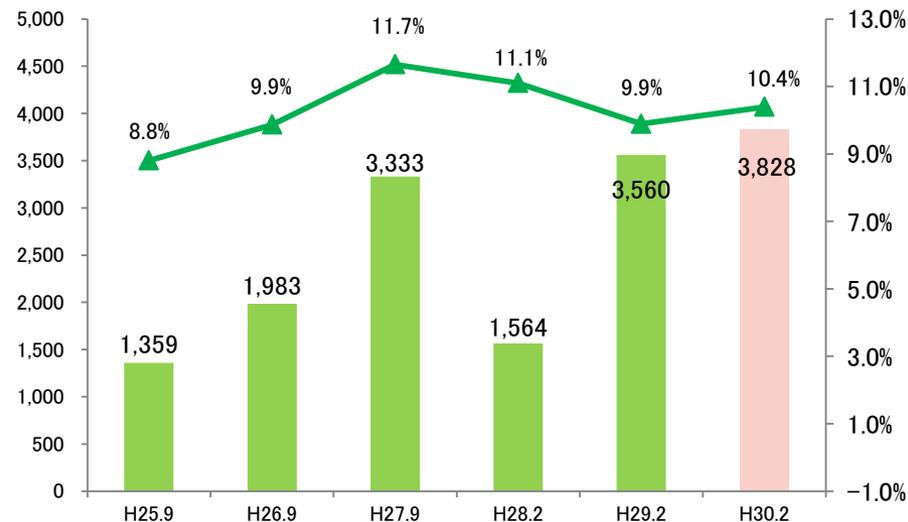
## (2) 業績の概要

売上高	36,841百万円(前年同期比 + 2.5%)
経常利益	3,828百万円(前年同期比 + 7.5%)
当期純利益	2,934百万円(前年同期比 +41.0%)

売上高



経常利益 (左軸) ・ 売上経常利益率 (右軸)



### (3) 売上高の内訳

鳥良・その他事業が増収を牽引

単位：百万円

	平成29年2月期 実績		平成30年2月期 実績			
					前年同期比	増減額
売上高	35,957	100.0%	36,841	100.0%	+2.5%	+884
鳥良	7,514	20.9 %	8,443	22.9 %	+12.3%	+929
磯丸水産	26,031	72.4 %	25,464	69.1 %	▲2.2%	▲567
その他	2,410	6.7 %	2,933	7.9 %	+21.7%	+522

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
既存店 前年比	96.8%	98.6%	97.3%	98.3%	96.1%	99.8%	97.2%	91.3%	101.7%	99.5%	95.2%	94.5%	97.3%

- 鳥良事業
  - ・好調な「鳥良商店」を9店舗出店、前年同期比+12.3%。既存店前年比は96.8%。
- 磯丸事業
  - ・2店舗を新規出店する一方、6店舗を業態転換、5店舗を閉店。
  - ・既存店前年比はタブレット端末の導入および店舗の改装効果により96.8%。
- その他事業
  - ・新業態の餃子製造販売店「トラ五郎」「いち五郎」を9店舗出店し、好調に推移。
  - 大衆酒場業態「ホームベース」「ホームベース2」「五の五」を4店舗トライアル出店
  - 既存店前年比は104.5%。

## (4) 損益計算書の概要

単位：百万円／下段は構成比

	平成29年 2月期	平成30年2月期				
		計画	実績	前年同期比	増減額	概要（数値は前年同期比較）
売上高	35,957 (100.0%)	37,000 (100.0%)	36,841 (100.0%)	+2.5%	+884	鳥良事業 +929 磯丸事業 ▲624 その他事業 +522
売上総利益	25,687 (71.4%)	26,440 (71.5%)	26,339 (71.5%)	+2.5%	+652	業態M I Xの変化による (磯丸水産→鳥良商店)
販管費	22,379 (62.2%)	23,090 (62.4%)	22,810 (61.9%)	+1.9%	+430	・前年同期に比べて新規出店▲22店舗 その開業経費負担減 ・親会社グループ全体でのクロス ファンクショナルチームによる 採用の効率化を推進▲292
営業利益	3,307 (9.2%)	3,350 (9.1%)	3,529 (9.6%)	+6.7%	+221	
経常利益	3,560 (9.9%)	3,700 (10.0%)	3,828 (10.4%)	+7.5%	+267	
当期純利益	2,081 (5.8%)	2,450 (6.6%)	2,934 (8.0%)	+41.0%	+853	・特別利益に消費税免除益+972が発生 (平成30年2月期のみ)

## (5) 貸借対照表の概要

単位：百万円／下段は構成比

		平成29年2月期末	平成30年2月期末		
				前期末増減額	主な増減要因
資産	流動資産	12,165 (46.3%)	12,339 (47.2%)	+174	
	固定資産	14,092 (53.7%)	13,816 (52.8%)	▲276	有形固定資産+17 のれん▲273 投資その他の資産▲22
	資産合計	26,257 (100.0%)	26,156 (100.0%)	▲101	
負債	流動負債	5,121 (19.5%)	4,167 (15.9%)	▲953	未払法人税等+107 1年以内返済予定の長期借入金▲93 リース債務▲77 その他▲851
	固定負債	961 (3.7%)	1,059 (4.1%)	+97	資産除去債務+223 長期借入金▲51 リース債務▲10 その他▲36
	負債合計	6,083 (23.2%)	5,227 (20.0%)	▲855	
純資産合計		20,174 (76.8%)	20,928 (80.0%)	+753	資本剰余金+5,815 利益剰余金+2,169 資本金▲6,147 自己株式▲1,083 (減資の実行および自己株式取得)
負債・純資産合計		26,257 (100.0%)	26,156 (100.0%)	▲101	

## (6) キャッシュフロー計算書の概要

自己株式の公開買付に備え、一時的に現金が増加

	平成29年2月期	平成30年2月期	増減額
営業キャッシュ・フロー	5,119	4,476	▲642
税金等調整前当期純利益	3,197	4,455	+1,258
仕入債務の増減額（△は減少）	71	▲30	▲102
その他	638	▲426	▲1,065
法人税等の支払額	▲896	▲1,322	▲426
投資キャッシュ・フロー	▲6,790	1,246	8,036
有価証券の償還による収入	2,000	－	▲2,000
貸付による支出	▲6,000	－	+6,000
貸付金の回収による収入	－	+3,000	+3,000
有形固定資産の取得による支出	▲2,219	▲1,273	+945
財務キャッシュ・フロー	▲918	▲2,437	▲1,518
配当金の支払額	▲644	▲764	▲120
リース債務の返済による支出	▲123	▲214	+102
自己株式の取得による支出	－	▲1,507	▲1,507
現金及び現金同等物の期首残高	7,289	4,709	▲2,579
現金及び現金同等物の期末残高	4,709	7,994	+3,285

単位：百万円

## (7) 店舗展開の状況

	(事業別)				(地域別)			
	鳥良	磯丸水産	その他	合計	東京 23区内	東京 23区外	首都圏 (東京以外)	関西/中部 九州圏
平成29年2月末	45	150 (5)	12	207 (5)	100	27	66	14 (5)
出店 (a)	+9	+2 (+2)	+7	+18 (+2)	+7	+1	+7	+3 (+2)
業態転換 による出店	+1	0	+6	+7	+4	+1	+2	0
閉店 (業態転換に よるもの含む)	-1	-11 [-6]	-2 [-1]	-14 [-7]	-11	-2	-3	0
平成30年2月末	54	141 (7)	23	218 (7)	100	27	72	17 (7)
平成30年2月期 通期出店計画 (b)	+10	+10	0	+20	首都圏を中心に通期で18店舗出店 (通期出店計画は20店舗)			
(a)/(b)	90%	20%	-	90%				

※ [ ] 内は業態転換による閉店数で内数になります。

※ ( ) 内はFC店舗数で外数になります。

# (8) 店舗展開の状況

【平成30年2月末時点】  
 鳥良：54店  
 磯丸水産：148店  
 その他：23店  
 -----  
 合計：225店(FC店含む)

－東京都－  
 鳥良：35店  
 磯丸水産：78店  
 その他：16店

－埼玉県－  
 鳥良：6店  
 磯丸水産：16店  
 その他：1店

－愛知県－  
 磯丸水産：5店  
 ※FC店

－兵庫県－  
 磯丸水産：2店  
 その他：1店

九州初出店  
 －福岡県－  
 磯丸水産：2店  
 ※FC店

－大阪府－  
 鳥良：2店  
 磯丸水産：11店  
 その他：1店

－神奈川県－  
 鳥良：7店  
 磯丸水産：25店  
 その他：3店

－千葉県－  
 鳥良：4店  
 磯丸水産：9店  
 その他：1店

※鳥良は鳥良商店、おもてなしとりよしを含みます

## (9) 平成30年2月期における重点ポイントの結果

各戦略を予定通り実行

① 既存店の改装27店舗  
(磯丸：25店舗・鳥良：2店舗)



売上前年比の改善に貢献  
30店舗実施(磯丸28店舗 鳥良2店舗)  
磯丸：25店に加え3店舗追加で実施  
鳥良：吉祥寺4号店・横浜西口店

② タブレット導入による客単価のアップ



ディナー帯客単価が上昇  
(平成29年2月期第3四半期(導入前)との比較)  
第2四半期以降は前年比をほぼ捉える

③ 新規事業へのチャレンジ



餃子居酒屋業態 9店舗出店  
大衆酒場業態 4店舗トライアル出店

④ 東京・大阪の一等立地への集中出店



東京・大阪への出店を行い  
通期計画20店舗に対し18店舗を出店  
九州エリアにF C店舗を2店舗出店



## 2. 平成31年2月期業績見通し

---

# (10) 平成31年2月期業績予想

一等立地マルチコンテンツ戦略の展開により、今後の成長の基礎を作る

単位：百万円／下段は構成比

	平成30年2月期	平成31年2月期（予想）		
		第2 四半期	通期	前年 同月比
売上高	36,841 (100.0%)	19,365 (100.0%)	39,600 (100.0%)	+7.5%
売上総利益	26,339 (71.5%)	13,921 (71.9%)	28,515 (72.0%)	+8.3%
販売費及び 一般管理費	22,810 (61.9%)	12,509 (64.6%)	24,965 (63.0%)	+9.4%
営業利益	3,529 (9.6%)	1,412 (7.3%)	3,550 (9.0%)	+0.6%
経常利益	3,828 (10.4%)	1,565 (8.1%)	3,850 (9.7%)	+0.6%
当期純利益	2,934 (8.0%)	895 (4.6%)	2,350 (5.9%)	▲19.9%

通期計画に対して第2 四半期における進捗率は、29店舗の業態転換、新規出店の前倒し（前期9店、今期18店）により、コスト増になることを踏まえた設定となっている

# 一等立地マルチコンテンツ戦略

駅前一等立地の路面店



幅広い客層に対応する業態

## マルチコンテンツ戦略に基づくアクションプラン

## 目指すべき成果

1

- ①マーケティング本部の新設  
⇒各ブランドの強化
- ②鳥良商店ブランドの確立  
⇒磯丸水産からの業態転換
- ③改装の実施  
⇒常に最高品質を保つため



既存店収益の維持・活性化

2

- ①前期新業態のブラッシュアップ
- ②新しいブランドの立ち上げ



新業態の確立

3

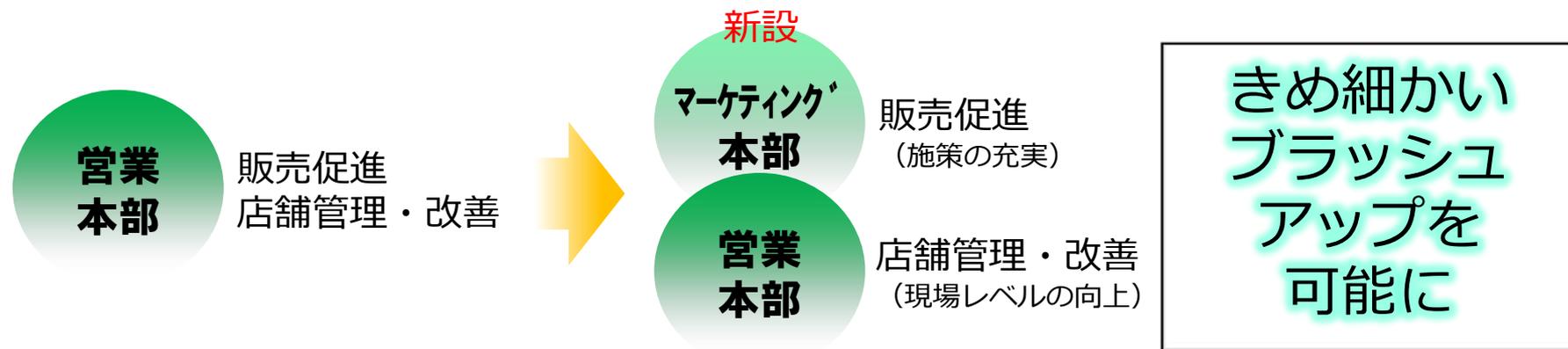
- ①新規出店の継続
- ②新業態の開発
- ③地方都市への進出



成長性の拡大

## (12) アクションプラン1 (既存店収益の維持・活性化)

### ① マーケティング本部の新設



### ② 鳥良商店ブランドを確固たるものに

今期業態転換予定29店舗のうち23店舗を鳥良商店へ転換し、店舗数を拡大

### ③ 店舗改装の実施 (10店舗予定)



3 店舗



7 店舗

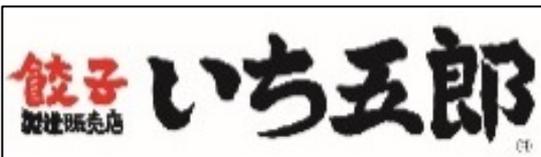
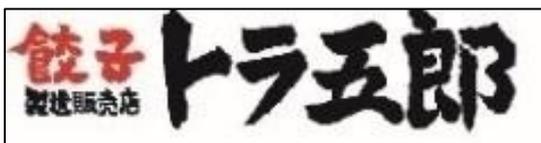
- ・老朽化対応
- ・集客力の向上
- ・店舗内オペレーションの効率化

(13) アクションプラン2 (新業態の確立) 1/3

① 前期新業態のブラッシュアップ

餃子居酒屋業態

トライアル初年度で9店舗の出店ペースは当社初



トラ五郎小滝橋通り



上野いち五郎



尼崎いち五郎



横浜五番街いち五郎



横浜南幸いち五郎



八王子いち五郎



亀戸いち五郎



南森町いち五郎



神田今川橋いち五郎

①前期新業態のブラッシュアップ

大衆酒場業態をトライアル

大衆酒場  
ホームベース

オールドタイプの酒場に  
平成モダンを取り入れ  
SFPのノウハウで再現した業態



ホームベース松戸西口



ホームベース祐天寺駅前

大衆酒場  
ホームベース 2

当社初の立飲み業態

ホームベース2  
ぴおシティ桜木町



大衆酒場  
五の五

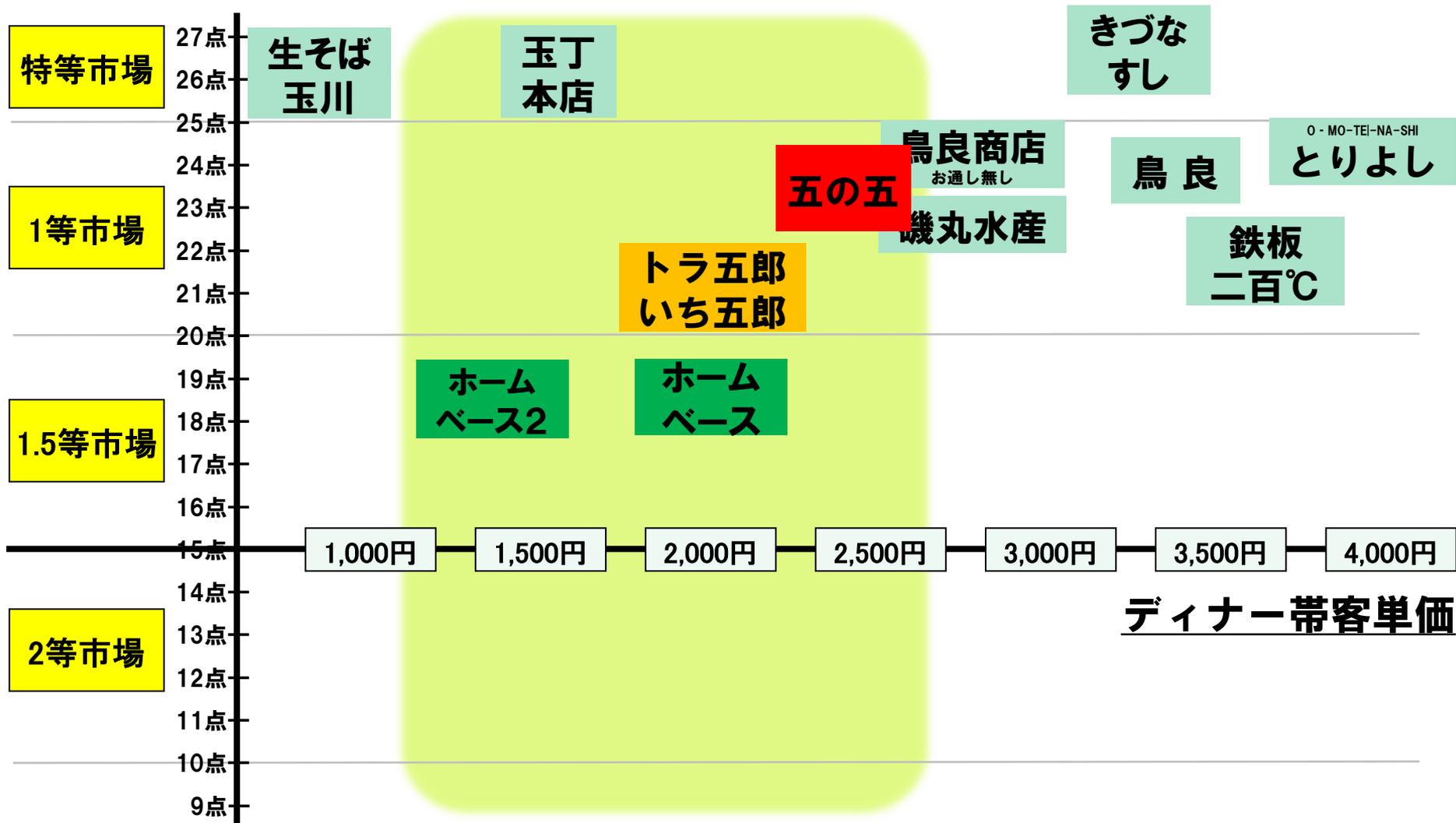
昭和レトロの  
大人の酒場をベースに  
こだわりの看板商品を  
ラインナップした大衆酒場

五の五  
神田南口



# (15) アクションプラン2 (新業態の確立) 3/3

## 市場評価点



# (16) アクションプラン3 (成長性の拡大)

## ① 新規出店の継続

首都圏・関西エリアを中心に  
20店舗出店  
(磯丸水産・鳥良商店・いち五郎など)

## ② 新業態の開発

アクションプラン2の通り

## ③ 地方都市への進出

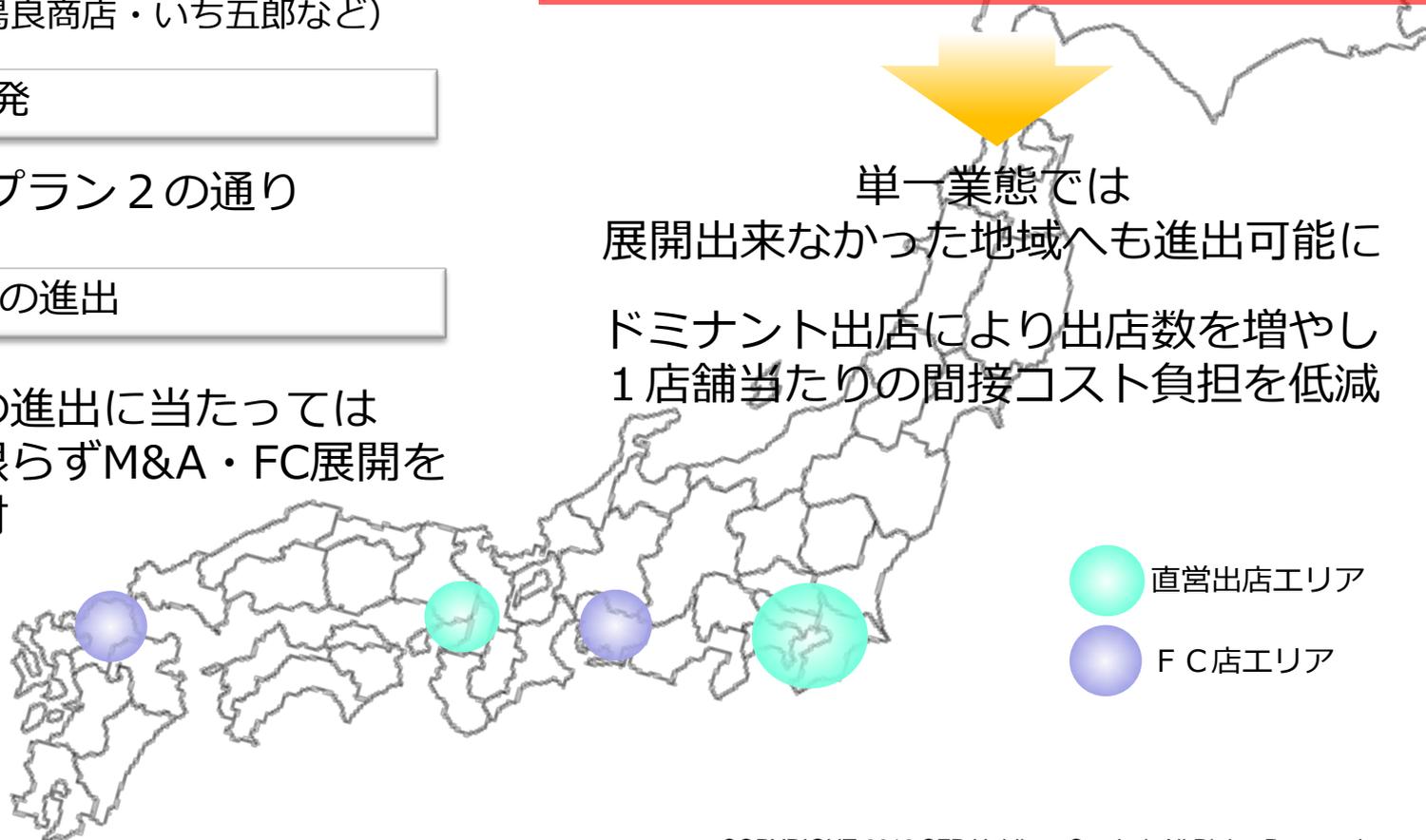
地方都市への進出に当たっては  
直営出店に限らずM&A・FC展開を  
積極的に検討



単一業態では

展開出来なかった地域へも進出可能に

ドミナント出店により出店数を増やし  
1店舗当たりの間接コスト負担を低減



● 直営出店エリア  
● FC店エリア

# (17) 中期経営計画 (数値目標)

着実な成長により平成33年2月期には売上高500億、店舗数は300店超へ

単位：百万円

	平成30年2月期 (実績)		平成31年2月期 (予想)		平成32年2月期 (予想)		平成33年2月期 (予想)	
売上高 (成長率)	36,841 (+2.5%)	100.0%	39,600 (+7.7%)	100.0%	43,000 (+8.6%)	100.0%	50,000 (+16.3%)	100.0%
経常利益	3,828	10.4%	3,850	9.7%	3,850	9.0%	4,500	9.0%
当期純利益	2,934	8.0%	2,350	5.9%	2,350	5.5%	2,650	5.3%

	平成30年2月期 (実績)	平成31年2月期 (予想)	平成32年2月期 (予想)	平成33年2月期 (予想)
新規出店数	18	20	40	40
期末店舗数	218	238	278	318



## 3. トピックス

---

# (18) 株主還元

## 配当

- 配当性向30%を目安に実施

	1株当たり	配当性向
平成27年9月期末 (12ヶ月)	20.0円	26.7%
平成28年2月期末 (5ヶ月)	9.0円	28.4%
平成29年2月期 (12ヶ月)	中間：13.0円 期末：13.0円 合計：26.0円	36.6%
平成30年2月期 (12ヶ月)	中間：13.0円 期末：13.0円 合計：26.0円	25.9%
平成31年2月期 (12ヶ月) 予想	中間：13.0円 期末：13.0円 合計：26.0円	28.6%

## 株主優待制度について

- SFPホールディングス株式会社の各店舗でご利用いただける「お食事券」を年2回、贈呈
- 毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式を100株以上保有の株主様が対象



保有株式数	株主優待券 (1回当たり)
100株～499株	4,000円
500株～999株	10,000円
1,000株以上	20,000円

## 今後の市場変更を見据え、自己株式の取得・消却を実施

当社自己株式の公開買付にクリエイト・レストランツ・ホールディングスが応募  
その後の自己株式消却の結果、保有比率は63.9%に（平成30年3月22日現在）



# 4. APPENDIX

---

## (19) 会社概要

本社	東京都世田谷区玉川二丁目21番1号	ニ子玉川ライズ・オフィス
事業内容	飲食店の経営	
代表者	代表取締役社長 佐藤 誠	
設立	平成22年11月（創業：昭和59年）	
資本金	534百万円	
発行済株式数	29,497,270株	
店舗数	218店舗（FC 7 店舗含まず）	
経営理念	時流を先見した「こだわり」の限りなき追求	

（平成30年2月末現在）

## (20) 沿革

創業時からの「強いブランド」に加え、大株主から経営ノウハウを吸収して成長を加速。  
東証2部への上場を果たし、持株会社体制へ移行、更なる成長へ

昭和59年		創業	「鳥良」を東京・吉祥寺に開業
平成13年	BSEの流行	「豊かな食を創造する総合フードサービス業をめざす」をビジョンとし、業態の多角化へ	
平成15年	SARS 鳥インフルエンザ		
平成20年	リーマン・ショック 世界同時不況	「日本を豊かにする『食』の専門店集団をめざす」とビジョンを改める→「専門店」化の追求	
平成21年			「磯丸水産」を東京・吉祥寺に開業
平成22年		ポラリス第二号投資事業有限責任組合が株主となり、ハンズオンのもとで、経営手法をブラッシュアップ	
平成23年			「きづなすし」を東京・新宿に開業
平成25年		株式会社クリエイティブ・レストランズ・ホールディングスと資本提携し、経営ノウハウを昇華	
平成26年		東証2部に上場	
平成27年		FC事業を開始	「鳥良商店」川越店を新規出店
平成28年		事業持株会社体制へ移行	
平成29年		商号をSFPホールディングス株式会社に変更	「トラ五郎」を東京・新宿に開業

## (21) 事業概要



水槽から引き揚げたばかりの活貝や、一番人気の「蟹味噌甲羅焼き」を目の前で焼きながら、海辺の磯料理屋の楽しさを、駅前立地で気軽にお楽しみいただける業態です。



手羽先唐揚専門店



昭和59年の創業から変わらない看板料理「手羽先唐揚」や、製法特許取得の豆腐、名古屋名物「どて焼き」など名物料理を、ジャズの流れる落ち着いた雰囲気の店内でお楽しみいただける業態です。



## 鳥良商店

昭和五十九年創業

明るく活気溢れる店内で、看板料理「手羽先唐揚」はもちろんのこと、「鶏くわ焼き」「鶏そば」など、鶏料理屋ならではの商品を気軽にお楽しみいただける業態です。



— O-MO-TE-NA-SHI —

鳥良が大切にしてきた「おもてなし」の形をさらに磨き上げ、手作りの料理、和装で心をこめたサービス、和モダンの粋な店内、すべてにおいて新たな価値の創造を目指した、鳥良の新しい形です。



## (22) 事業概要

餃子 製造販売店 **トラ五郎**  
 餃子 製造販売店 **いち五郎**

焼き、水、炊き、揚げと4ジャンル、13種類の餃子をはじめ、日常的に楽しめる豊富な一品料理を取り揃えた業態です。氷の代わりに凍ったレモンを使った「かちかちレモン」でサワー・ハイボールをお楽しみいただけます。



大衆酒場 **酒** ホームベース  
 大衆酒場 **酒** ホームベース<sup>2</sup>



大衆酒場 **五の五**



どこか懐かしい昭和レトロ感の漂う「コの字カウンター」が設置された店内は、明るく活気に溢れ、女性も安心して気軽にご来店いただけます。看板料理「どてやき」は、店内の大鍋で毎日じっくり煮込んでいます。「ホームベース2」はSFPブランド初の立ち飲み業態です。

毎日利用したくなる、サラリーマンやOLに明日の活力をお届けする大衆酒場。

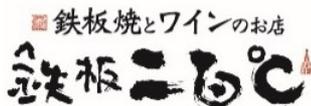
## (23) 事業概要



好きなネタを一貫99円(税抜価格)よりお好みでご注文でき、一品料理は約40種、ドリンクも約50種類と豊富に取り揃えました。「寿司食べ放題」もお楽しみいただける業態です。



「挽きたて・打ちたて・茹でたて」にこだわった蕎麦をお手頃価格で24時間、お召し上がりいただける業態です。丼物やお酒に合う一品料理もご用意しております。



本格鉄板料理店の高級感と下町のお好み焼き屋の気軽さをあわせ持つ業態です。200℃の大鉄板で豪快に焼き上げる新鮮な魚介類や厳選のお肉、野菜をワインと共に楽しみいただけます。



店内中央に配置されたカウンター内のキッチンで軽快に進む調理。旨い洋食をお気軽に、カジュアルだけれどオシャレな空間で、楽しくお過ごしいただくことを目指した業態です。



名古屋名物「味噌煮込みうどん」。厳選の鰹節や昆布などどった一番出汁と本場のレシピを忠実に再現したブレンド味噌に、試行錯誤のうえ開発したうどん麺の絶妙なバランスをお楽しみいただける業態です。



スペイン現地にあるBAR(バル)スタイルを忠実に再現。カジュアルな雰囲気のある店内で、こだわりの料理と厳選のお酒をお楽しみいただける業態です。



- ◆ 本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ◆ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されています。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ◆ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料および当社IRに関するお問い合わせ先】

S F Pホールディングス株式会社

経営企画部

TEL： 03-5491-5869

ホームページ： <http://www.sfpdining.jp/>